

農業におけるその他の動力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	16~17	収穫作業中、作業台の進行スピードが速かったため速度設定を切り替えようとしたところ、台車が止まらず通路まで出てしまい、台車から飛び降り台車を止めようとしたところ、右足を台車にひかれた。	56	10~29
3	13~14	フォーレイジャーハーベスターの修理をするためにボンネットに乗って作業をしていたところ、足場を踏み外し、2mの高さから落下して腰骨骨折および頭部打撲を負った。	53	1~9
3	8~9	自社の農機具置場で、トラクターのエンジンのかけ方を教えていた。そこで本人が見ていたが、アクセルを上げていなかったため、本人がアクセルを急に上げたところ、エンジンがかかり、トラクターが前進し、右足をふんでしまった。クラッチをニュートラルにしていなかった事、クラッチを切っていなかった事、急にアクセルを上げた事が原因である。	32	1~9
4	15~16	傾斜のある山の畑で肥料散布中、移動のため乗っていた運搬車の助手席から降りる際、地面が軟弱だったため足を滑らせ転倒した。	27	1~9
9	8~9	ブロッコリーの収集作業をしていた際、ブロッコリー運搬車の前方にて作業中に右足を踏まれ転倒したもの。	68	1~9
10	10~11	ミカン園地で収穫作業中にモノレールのストップレバーをレールの下で引いて服が巻き込まれ骨折した。	50	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html